

学校だより

H21. 11. 27 No.10



ゆめの森親子体験教室が行われました

10月31日(土)、ゆめの森親子体験教室が行われました。ゆめの森親子体験教室は、「実際の体験を通して、地域の文化や歴史、自然、人から学ぶ」というふるさと学習の一つの柱として行われている

るものです。

今年は、33名の外部講師の方をお招きし、全部で15の講座が開設されました。高い専門性をお持ちの講師の先生方のご指導の下、子どもたちは、普段の学習や生活の中ではなかなかできないことを体験することができました。いっしょに参加された保護者の皆様からも、「普段は気付かなかった子どもの新たな一面を発見することができました。」

「子どもといっしょに一つのことに打ち込んでみるとうのもいいものですね。」といううれしい感想を数多く寄せていただきました。

このような貴重な体験ができましたのも、外部講師の方々のご協力とPTAの役員の方々のご尽力があったからこそであります。心より感謝申し上げます。



なかよし月間 人権について考えました

4日(水)から20日(金)まで、人権についてじっくりと考え、人権感覚を養っていくという趣旨で「なかよし月間」を設けました。

5日(木)の低学年参観日、17日(火)の高学年参観日では、ワークショップなどを通して、実際に相手の立場に立って考えてみる体験をしました。

また、19日(木)に行われた「なかよしについて考える会」では、自分の中にある人権感覚を見つめ直しました。友だちのことを考えて「友達讃歌」をしっかりと歌ってくれた1年生。名前の呼び捨てについての学習や観劇教室を通して友だちのことを考えてくれた2年生。友だちについての目標を標語にしてくれた3年生。アイマスク体験で学んだことを発表してくれた4年生。手話の学習で学んだことを発表してくれた5年生。

「ビューティフルネーム」の歌に寄せて、名前の由来を調べ、かけがえのない一人一人の存在に目を向けてくれた6年生。様々な発表の中に、「やさしく、すこやかな心」を育てていくたくさんのヒントを見つけることができました。